

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第5回

革マル派の最後の資金源となった JR東日本の経営陣は目を覚ませ！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

<週刊現代2006年8月18日発売号>

革マル派追放に駆り立てたものは、いったい何なのか！奥島早大前総長が告白！

「何より許せなかったのが、他の学生の『自由』をけって認めようとしていない革マル派の姿勢です。早稲田ほど、自由を愛する大学はない。しかしその早稲田では30年間、『自由を愛する』という美名のもと、『他者の自由を認めない者の自由』、つまり『革マル派の自由』だけを認めるということがまかり通ってきた。それを先生たちは、見て見ぬふりをしてきた。さらには、30年という間に、彼らと癒着し、取り込まれてしまった先生までいた」奥島氏が総長に就任するまでの、30年間の早稲田大学の惨状 - 。これは今なお、革マル派に支配され続けているJR東日本の現状と酷似している。

歴代のJR東日本経営陣は、松崎並びにJR東労組と癒着し、組合が人事に介入するという、経営権への容喙まで許してしまった。・・・



この記事は、奥島孝康早稲田大学前総長の独占告白として、JRと並ぶ「革マル派」の資金源と化していた早大から「革マル派」をいかにして駆逐したか、「革マル派」から受けた想像を絶する数々の暴力の実態を明らかにしている。問題は、「吊るし上げ」「家族への嫌がらせ」「自宅への侵入」等にも屈することなく、「革マル派」に立ち向かった早大当局の決断と、会社ぐるみで捜査の妨害を行い、「革マル派」を守るJR東日本の姿勢とのあまりにも大きな落差である。

JR東日本経営陣よ！あなたがたには、乗客の安全のため、早稲田のように身を賭して「革マル派」に立ち向かうという気概はないのか！

JR東日本経営陣には、身を賭して、 革マルに立ち向かう気概はないのか！